

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

教職員一同心から歓迎いたします。これまでお子様を温かく見守り、支援してこられた保護者の皆様には、心からお祝い申し上げます。

本日の第五十八回入学式に愛国学園理事長の織田奈美先生をはじめ、系列上級学校のご来賓の先生方のご臨席を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

今日から本校で新たなスタートを始める皆さんは、校訓の「親切正直」とともに、建学精神の「豊かな知識と技術を身につけ、美しい情操と他者を思いやる奉仕心を持って、賢くしとやかな女性を目指す」こととなります。

今年の入学生から、日本の高校教育は、新教育課程の下、新しい教育がスタートします。また、国のGIGAスクール構想に基づいて、本校も生徒一人一台のタブレット端末を活用した学習環境を整えて「教育を充実させていきます」。

さて、入学生の皆さんは、今同じスタートラインに立っています。しかし、そのスタートラインから

目指すゴールは一人一人違います。今日からの皆さんの歩みは、速さを競うものでも、ゴールの優劣を競うことでもありません。しかし、誰にでも共通していることは、自らを成長させていくことです。自分を成長させるための種をこの学校で見つけ、それを発芽させ、育てていくことです。種にはとても小さいものがあるように、見つけにくいこともあるかもしれませんが、成長の種はいたるところにあるものです。

例えば、その種は、毎日の授業の中に、学校行事の中に、部活動の中に、級友や仲間との交流の中に、必ず存在しています。そして、それは皆さんの未来を創る種になるものです。

これまでは成長の種が目の前にあっても、当たり前すぎて気づかなかったこともあったかもしれません。しかし、今日からは見方を変えて成長の種を探してみてください。

皆さんが愛国学園での三年間でいくつの種を、そして、どんな種を育てることになるかとても楽しみです。

その未来を創る成長の種はコース制の学びや課外活動や系列の上級学校との連携事業などの中にも必ずあります。そして、何よりも重要なことは、見つけたらそれを育てていく努力を続けることです。育てていくのに必要になる水や養分にあたるものが、学校での学びであったり、時には仲間であったりします。

今までの自分やこれまでの自分にこだわらないで、「今から私は」とか「これから私は」という気持ちを持って、新しい自分を創ることに集中していくことが今の皆さんに一番必要なことであり、一番似合うことだと思えます。

今から、そして、ここ愛国学園から皆さんの未来を創る第一歩を踏み出してください。

今日からの三年間の歩みが皆さんの未来を創っていくしつかりとした歩みになることを心から願って校長式辞とします。

令和四年四月十一日

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校長

倉持正男